

2020年度 農林水産省・文部科学省後援

日本 **農業技術** 検定

検定試験日 **第1回 7/11** 土 **第2回 12/12** 土

応募期間

第1回 5月1日(金)～6月5日(金)
第2回 10月1日(木)～11月5日(木)

受験級

第1回 3級・2級
第2回 3級・2級・1級



JA上伊那

JAの自己改革は職員のスキルアップから! JAの営農指導力のスキルアップには2級・1級を! JA一般職員には農業の基礎知識の取得のための3級を!

日本農業技術検定は、わが国の農業現場への新規就農のほか、農業系大学への進学、農業法人や関連企業等への就業を目指す学生や社会人などを対象として、農業知識や技術の修得水準を客観的に把握し、教育研修の効果を高めることを目的として、2007年度から実施している農業専門の全国統一の試験制度です。

農業をめぐる環境が厳しさを増すなか、本検定は農業に関する実践的知識の修得水準を客観的に測定しますので、JAの営農指導者には2級・1級受験で営農指導のスキルアップ、一般職員には3級受験により農業一般の基礎知識の修得に役立ちます。JA県連グループで検定に取り組むところもあります。

実施主体

日本農業技術検定協会
(事務局：一般社団法人全国農業会議所)

TEL：03-6910-1126 FAX：03-3265-5140
e-mail：kentei@nca.or.jp

ホームページ ▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

日本農業技術検定協会構成団体

(一社)全国農業協同組合中央会／全国町村会／全国農業高等学校長協会／全国農業大学校協議会／全国農学系学部長会議／全国大学附属農場協議会／(公社)日本農業法人協会／(一社)全国農業改良普及支援協会／(公財)農民教育協会／(公社)国際農業者交流協会／(一社)日本農業機械化協会／(一社)全国農協観光協会／(一社)農山漁村文化協会／(一社)全国農業会議所(事務局)の14団体によって構成されています。

日本農業技術検定概要

第1回

2020年7月11日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

第2回

2020年12月12日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

応募期間

第1回 5月1日(金)~ 6月5日(金)

第2回 10月1日(木)~11月5日(木)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

受験料

	一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
3級	3,140円	2,620円	1,570円
2級	4,190円	3,350円	1,670円
1級	5,240円	4,190円	2,620円

※JA新はこだて、JAみやぎ登米、JA佐波伊勢崎、JA石川県中央会、JA佐渡、JAひすい、JAみな穂、JA福井県中央会、JAかながわ西湘、JAセレサ川崎、JA東京中央、JAマインズ、JAしみず、JA御殿場、JAハイナン、JAなんすん、JA伊豆の国、JA長野中央会、JA上伊那、JA塩尻市、JA木曾、JA中野市、JAあづみ、JA信州諏訪、JA佐久浅間、JA信州うえだ、JAみなみ信州、JAあいち豊田、JAぎふ、JA東びわこ、JAこうか、JA西びわこ、JAグリーン近江、JA栗東市、JA丹波ひかみ、JA兵庫みらい、JA三原、JA大阪泉州、JAいずみの、JA香川県、JA高知市、JA福岡中央会、JAむなかた、JA粕屋、JA糸島、JA筑前あさくら、JAにじ、JAみい、JAくるめ、JAふくおか八女、JA柳川、JAみなみ筑後、JAたがわ、JA福岡京築、JAくま、JAおいた、JAおきなわでは営農指導力の向上やJA一般職員のキャリアアップを目的に団体受験が進められています。

県連グループの取り組みとしてJA営農指導員上級資格の要件の一つとして、一般JA職員は全員3級資格を取得するという取り組みを進めるところも出てきました。

※酪農学園大学、拓殖大学北海道短期大学、秋田県立大学、茨城大学、千葉大学、玉川大学、東京農業大学(神奈川、北海道)、日本大学、岐阜大学、名城大学、信州大学、京都府立大学、鳥取大学、島根大学、県立広島大学、佐賀大学、東海大学(熊本)、南九州大学、宮崎大学、琉球大学、新潟食料農業大学では大学生の団体受験が進められています。多くの大学では学生が元々農業経験もないため大学での農学習得の補強手段として活用されているほか、日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験に取り組んでいます。

※本検定の上位資格は一定の農業に関する実務的知識を習得していることの証明になります。

試験方法

[3級] 学科試験のみ

[2級] 学科試験+実技試験

[1級] 学科試験+実技試験

※1、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は、免除措置があります。詳しくはホームページをご覧ください。

3級 試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル	■ 農業基礎として共通30問 ■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」については、環境共通10問と3専門分野(造園、農業土木、林業)別に各10問 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象：農業高校生	
2級 試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	■ 農業一般として共通10問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象：JA営農指導員・大学生	
1級 試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル	■ 農業一般として共通20問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
	主な受験対象：JA営農指導員・大学生	

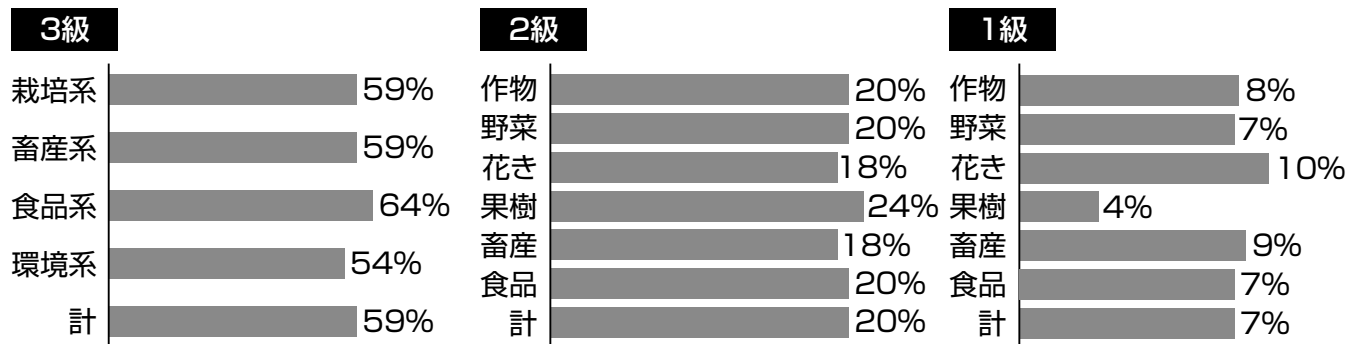
日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2014～2019年度)

(受験者数(人)
合格率(%))

	3級	2級	1級	合計
2014年度	18,411人(67%)	4,104人(23%)	258人(9%)	22,773人(59%)
2015年度	18,926人(68%)	4,949人(21%)	245人(10%)	24,120人(58%)
2016年度	20,183人(62%)	5,350人(19%)	308人(8%)	25,841人(53%)
2017年度	20,681人(56%)	5,743人(18%)	277人(6%)	26,701人(47%)
2018年度	20,521人(62%)	5,365人(20%)	247人(9%)	26,133人(53%)
2019年度	19,992人(59%)	5,311人(23%)	266人(7%)	25,569人(51%)

②科目別合格率(2017～2019年度)



③合格基準

【3級】100点満点の原則60%以上

【2級】100点満点の原則70%以上

【1級】120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(農業機械についてのほ場での実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上を履修していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお薦めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※免除申請がない場合の合格証は「学科試験合格証明書」になります。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に開催)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校での、農場実習等4単位取得者又は2年以上営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>
 ホームページから ※インターネット環境がない方のために、FAX・郵送でも受付可。

①一般受験

個人がインターネットで申込み場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

「農の雇用」事業研修生は、都道府県農業会議が受験者をまとめてインターネットで申し込む。

※一般受験も団体受験も受験料の振込先口座番号は受験者別になっており、毎回変わります。また、応募期間内に受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人などの実施団体がインターネットで申込み場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。

テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は検定ホームページをご覧ください)

2020年度版
日本農業技術検定
過去問題集
好評販売中!

3級

- (1) 2020年度版過去問題集3級 (発行) 全国農業会議所
※2017年度、2018年度、2019年度試験問題6回分を収録
- (2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行) 全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

2級

- (1) 2020年度版過去問題集2級 (発行) 全国農業会議所
※2019年度試験問題2回分を収録
- (2) 日本農業技術検定2級テキスト (発行) 全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

1級

- (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
※2017、2018、2019年度試験問題、年度毎に実費販売
- (2) 日本農業技術検定1級…参考図書例 農業関係出版社

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧の上、日本農業技術検定協会事務局宛(kentei@nca.or.jp)にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666

JAの団体受験の取組み紹介

JA上伊那

組合員と農協職員の接点の強化のために全農協正職員に「営農相談員」資格とその要件である日本農業技術検定3級資格の取得に取り組んでいる

JA上伊那は、長野県南部の天竜川沿いの伊那市・駒ヶ根市・辰野町・箕輪町・飯島町、南箕輪村など2市3町3村にわたり、農協の組合員は正准30,700人。職員は正職員496人、総勢858人の大きな農協である。農産物の販売額では米は県下有数の産地であるほか、小麦は強力粉の「ハナマンテン」、野菜はアスパラガス、白ネギ、ブロッコリーなど、りんごは極早生種の「夏あかり」から晩生種の「ふじ」のほか長野県オリジナルりんご3兄弟の「秋映」、「シナノスイート」、「シナノゴールド」、花は生産量日本一を誇るアルストロメリア、上伊那オリジナル品種が中心のトルコギキョウなど総額約140億円の販売額を誇っている。

当該農協は全職員にJA職員の基本である「農」への基本的な知識を身に付け意識を高めて組合員との関係強化に役立てるため「営農相談員」資格を必須とした。JA長野県グループでは令和元年度から「営農相談員」資格の取得条件を日本農業技術検

定3級取得に切り替えたことから、既存資格制度である日本農業技術検定3級合格を要件とした。

JA上伊那では「営農部門以外の職員を含め全職員がスタンダードレベルの農業知識を持って組合員とコミュニケーションをとっていかねばならない」との方針から実施されているのは、①営農相談員資格取得と、②毎年全正職員を対象にした農家体験実習の2本柱がある。

営農相談員資格は平成30年までに既に旧制度で109名の認証があったが、日本農業技術検定を活用して昨年度から今年まで新たに189名の登録(3級合格率は8割を超えている)がなされた。営農相談員認証取得は3か年計画なので来年末も取得者には検定を受験して貰う計画だが、臨時職員にも自主的に受験する動きがでている。長野県下ではJA上伊那のような全職員に検定資格を取らせることにはなっていないが、令和元年度は11JAが一斉に日本農業技術検定の団体受験に取り組んでいる。

JA香川県

幅広く農業の基礎知識を習得し、JA組織・経営強化(役職員の意識改革)を図ることを目的に日本農業技術検定試験の受験を進める

香川県は温暖な瀬戸内海の気候に恵まれ、冬レタスやブロッコリーなどの野菜、マーガレットやラナンキュラスなどの花きの生産が盛んである。JA香川県は平成12年に43JAが合併し設立され、平成25年の合併によって県下1JAとなった。組合員は約13万9千人、正職員は約2千1百人、販売高は約400億円である。

JA香川県では新規採用職員や若年層職員を中心に農業に関する基礎知識を身に付けるため、県内各地域の農家や農業施設に向いて農業体験を実施しているほか、今年度から35歳未満の職員を対象に日本農業技術検定試験3級を受験することとした。令和元年12月には営農指導員等を含めた294名が受験して、合格率は約8割であった。3級受験は約700名の若年層職員を対象に3か年計画で取り組んでいる。

検定試験を通じてJA職員として農業の基礎知識を習得して、担当業務に限らず組合員のニーズに対応でき、組合員・地域の方からの負託に応えられる職員に成長することを期待している。

協賛企業・団体の募集を始めました

(私達も日本農業技術検定応援しております)



日本農業技術検定に関するお問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階
TEL:03-6910-1126 FAX:03-3265-5140 e-mail:kentei@nca.or.jp